

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

スペクトラム・アナライザ「U3700 シリーズ」に3種類のオプションを販売開始

業界初、2チャンネル入力オプションなど スペクトラム・アナライザ「U3700 シリーズ」を機能強化

株式会社アドバンテスト(本社:東京都千代田区 社長:丸山利雄)は、スペクトラム・アナライザ「U3700 シリーズ」の新規オプションとして、「2チャンネル入力オプション」、「時間軸解析オプション」、「6GHzトラッキング・ジェネレータ・オプション」を開発し、10月より販売を開始いたします。これらのオプションにより、無線通信機器や無線通信モジュールの生産ライン、電波環境調査などのフィールド・ユースにおいて低コストでの信号特性評価を実現いたします。

同製品は、11月26日から28日まで、パシフィコ横浜にて開催するマイクロウェーブ展 2008に出展いたします。

開発の背景

近年、無線通信の用途は、通信型ゲーム機器や車載用電子機器など、ますますその領域の拡大が続いております。また、無線通信機器で扱う情報の大容量化も進んでおりますが、これらの情報を安定的に高速伝送するために、複数のアンテナを利用した MIMO 方式(Multiple Input Multiple Output)に代表されるマルチアンテナ技術など新しい通信技術の採用も進んでおります。一方、無線通信機器の開発、生産、保守の現場では、製品の品質管理のためにスペクトラム・アナライザによる信号特性評価が行われておりますが、評価作業のさらなる効率化が求められております。

新製品の特長

2チャンネル入力オプション

業界初となる、独立した2系統のRF信号入力ポートを搭載することで、異なる通信システムの規格項目を同時に測定したり、2本のアンテナ出力を同時に測定したりすることが可能になります。これにより、1チャンネルのスペアナでは不可能だった2信号の同時モニターや、これまで2台使用して構築していた複雑なシステム構成も、1台で簡易に行うことができますので大幅な測定時間とコストの低減が可能となります。

時間軸解析オプション

デジタル変調技術を利用した無線通信型ゲーム機器や車載用電子機器など、また、それらに搭載されるデバイスを評価する場合には、信号の周波数特性だけでなく時間軸からも信号を解析することで良否判定が容易になります。しかし従来、時間軸に対する周波数やパワー、位相の変化などの解析を行うためには、スペクトラム・アナライザとオシロスコープを併用し、さらに複雑な演算を行う必要がありました。本オプションにより、スペクトラム・アナライザのみで時間軸に対して周波数やパワー、位相などの信号解析を効率的かつ低コストで行うことが可能になります。

6GHzトラッキング・ジェネレータ・オプション

無線 LAN や ETC などの無線システムに用いられる IEEE802.11 規格においては、使用される周波数帯域が 5GHz を超えるため、従来では高価なスペクトラム・アナライザが必要とされておりました。本オプションにより、U3700 シリーズの周波数測定範囲を従来の 3GHz から 6GHz まで拡張できますので、これら無線システムの評価を低コストで行うことが可能となります。

価格

2チャンネル入力オプション	600,000円(税抜き)
時間軸解析オプション	400,000円(税抜き)
6GHzトラッキング・ジェネレータ・オプション	450,000円(税抜き)

販売目標

初年度 オプション合計で 200 セット

主な仕様

2チャンネル入力オプション

周波数範囲:	9kHz ~ 3GHz
入力チャンネル間クロストーク:	<-90dBc

時間軸解析オプション

解析機能:	周波数対時間、パワー対時間、位相対時間、FFT解析
-------	---------------------------

6GHzトラッキング・ジェネレータ・オプション

周波数範囲:	100kHz ~ 6GHz
出力レベル範囲:	0 ~ -30dBm

製品に関するお問い合わせ先

RF 測定器販売推進部 電話 03-3214-7502